

11 月定例山行

11 月 6 日

本串山

参加者 15 名

CL 小林愷子 SL 川村文子
若木、大久保、藤本忠、堂垣内、
岡田、三重成、熊野、三浦、
中野、熊谷修、熊谷陽、梶野、
〔会友〕今西・

コースタイム

JR 布駅登山口 10 : 00 → 第 2 鉄塔 11 : 00 → 第 3 鉄塔 11 : 20 →
本串山頂 12 : 05 (昼食) 山頂 13 : 05 → 十字路 13 : 20 → 飯室 14 : 12 着
毛木駅 14 : 53 分発の電車に乗る



○

本串山は JR 可部線に沿った安佐町にあるが、ガイドブックにもその名を殆ど見かけない。太田川を隔てて久地冠山の北に位置し、頂上を踏んだ足をさらに北に延ばせばそれは牛頭山に続くやや急峻な里山である。下車した JR 布駅は閑散としていた。すぐに線路を横切り、民家の傍らを入れれば右側に樺の大木があり、ここから登山道が始まる。暫らくは痩せた道が続くので足元に気を配りながら慎重に進んだ。道はだんだん急登になる。「平日山行なのにきついねー」などと不満げな声が背中に聞こえてくる。「文句を言うな！真面目に足を運べばいつか頂上につくよ」と頭上でカラスが笑っていた。歩き始めたばかりなのに先が思いやられるなア。「鉄塔を目指して行けば 5 番目の手前が本串の山頂ですよ」と自分

にとも仲間にともつかぬ励ましの言葉をかけながら進んだ。やがてスギやヒノキの樹林に入り、アップダウンを繰り返してやっと赤い第一鉄塔が見えて来た。ここで一息入れる。対岸の久地冠の全容が陽に映えて美しい。太田川の水も光っている。さあ歩き始めよう。これからが本番だ。展望のない薄暗い樹間を大きく巻いて通り 2 時間で頂上に着いた。三角点も樹林の中で全く展望は得られない。少し移動して日溜まりで楽しい昼食をした。下山は飯室のコースを下りることにした。頂上から 15 分ほど北へ歩くと牛頭山に続く分岐の十字路がある。そこを右にとり、倒木で荒れた道をひたすら下りると 1 時間余りで飯室の舗道に出た。足元のフユイチゴの実が鮮やかで、はや初冬の忍び寄る佇まいであった。

(記 小林愷子)